

ヤングケアラー理解を深める支援を考えるセミナー 実施要領

1 趣旨

本来は大人が担うような責任を引受け、日常的に家族の介護や世話、家事をする子ども「ヤングケアラー」。埼玉県が2020年に県内すべての高校2年生（およそ55,000人）を対象に行った調査では、25人に1人がヤングケアラーであるという結果になりました。年齢や成長段階とあっていない重いケアや家事によって、子どもらしい生活を送れない、望む進路や仕事をあきらめざるをえないなど社会的な課題となっています。そのため、地域におけるヤングケアラーの理解者を増やし、そうした状況を早期に発見するとともに適切な支援につなげる必要があります。

本セミナーでは、ヤングケアラーについて正しく理解し、ヤングケアラー支援の必要性や発見、声掛けのポイントなどについて学び、地域で共に暮らす住民や地域福祉活動者ができる支援を考える機会とします。

2 主催

埼玉県（運営：埼玉県社会福祉協議会）

3 対象者

子どもの居場所運営者、地域福祉活動者等（支え合い活動やサロン活動、ボランティア活動者）、主任児童委員、民生委員・児童委員、児童福祉に関心のある方等

4 日時・会場

令和4年11月7日（月）午後13:30～16:00（受付13:00～）

武蔵野銀行本店ビル 2階 M's SQUARE(エムズスクエア) JR大宮駅西口徒歩5分

5 定員

50人（「8 申込み」により事前の申込みをお願いします）。

6 講師

立教大学 コミュニティ福祉学部福祉学科 助教 田中 悠美子氏

専門：社会福祉学（認知症ケア、地域福祉、ヤングケアラー支援等）

一般社団法人日本ケアラー連盟理事、埼玉県ヤングケアラー支援推進協議会委員

一般社団法人ケアラーワークス代表理事

7 内容

時間	プログラム	内容
13:30～13:35	オリエンテーション	開催あいさつ
13:35～14:20	基礎講座	■ヤングケアラーの基本的な理解、気づきのポイント、対応の留意点等について
14:20～14:50	ゲストスピーカーから学ぶ	■当事者（元ヤングケアラー）の体験談など
(10分)	休憩	
15:00～15:30	ペアワーク	■感想・質疑応答・地域での支援について等
15:30～15:55	フィードバックまとめ	■参加者との全体共有
15:55～16:00	閉会	事務連絡

8 申込み

(1) インターネット又はお電話でお受けします。

【申込み先】 <https://ws.formzu.net/dist/S87633871/>

(2) 参加費 無料

(3) 申込締切り：開催5日前または定員に達した時点



9 その他

参加時には、マスクを着用ください。また、会場での手指のアルコール消毒、体温の検温に御協力をお願いします。

また、研修日は御自宅での検温をお願いします。発熱がある、または体調不良の場合は、受講を控え欠席の御連絡をお願いします。

10 問い合わせ先

埼玉県社会福祉協議会 地域福祉部地域連携課

(担当：近藤・大島・野口)

TEL：048-822-1248

Eメール：chiiki-g@fukushi-saitama.or.jp

11 会場案内図 右の図参照

JR大宮駅西口から、連絡デッキでつきあたりまでお越しいただくと会場です。

